

04

Vol.37

第17期
2026年

在住協通信

JTA 一般社団法人 日本在来工法住宅協会
Japan Traditional Wooden Home Association

伝統の技術を未来へ。



Interview File no. 16

会員インタビュー

奈良支部長

有限会社大西組

代表取締役

大西 功一 さん

今月号の見出し

- ・会員インタビュー
- ・今、求められる熱中症予防管理者
- ・働き方改革支援特設サイトのご案内
- ・第16期3月度理事会開催報告
- ・新規会員のご紹介
- ・在住協事務局便り
- ・お知らせ
熱中症予防管理者教育・講習受講者募集

66人の"お父ちゃん"になり社員を守る経営哲学

スコップ2本からのスタート

大西さんは、十代から様々な仕事を経験され、若くして飲食店で店長を務めました。そこで身につけた原価計算が、後の経営を支えることになります。「土木工事はどんぶり勘定もあるけど、私は細かく計算します。それがなかったら、今頃潰れていたかもしれません」と大西さん。バブル崩壊後、軽トラ1台とスコップ2本だけを手に独立。周囲の反対も意に介さず現場に飛び込み、応援職人として基礎工事の現場に入るうちに専門性を深めていきました。「外で仕事するのが好きだったんだと思います。土の中はとても面白いんです」と語る大西さんは、体も頭も心もひたすら現場に向き合い続けた結果、いつしかそれが天職になっていきました。

これからの「大西組」

現在では、社員自らが必要に応じて定例会議を主催し、運営する体制に。さらに、これからの目標は「感覚経営をやめる」こと。評価制度を導入し、昇給・昇格が見える化する仕組みを構築中です。目指すのは、自分がいなくなっても会社が回る「組織」をつくること。こうした体制づくりとともに、日夜挑戦を重ね、30周年を迎える2029年に向け、さらなる飛躍を目指されています。

全員「正社員」として共に歩む

現在の従業員は66名。「下請けゼロ・全員正社員」を貫き、シニア・女性・外国人と多様な人材が専門性を持って活躍しています。独立当初、冬場に深夜まで一人で作業し、わずかな手元資金からガソリン代を捻出した日々があったからこそ、むやみに独立を勧めず、きちんと雇用して共に歩む道を選びました。取引先からの不渡り、従業員全員のボイコット、震災直後の工事停止。幾多の試練を乗り越えながらも、社員の給料と社会保障を守り続けてきました。「引き留めはしない。でもいつでも戻ってこれる会社にしようと考えています。今は66人の"お父ちゃん"だから仕方ない。社員の家族も安心できる環境を作っていくのが建設業の経営だと思えます」と語ります。



在住協通信のナビゲーター

Zaijyu Kyoko's
Pickup!

高校生の若い力を現場へ

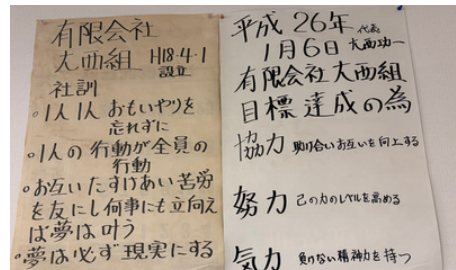
職人不足は今、住宅建築に携わる全ての人の課題です。大西さんはその解決策の一つとして、夏休みなどに高校生をアルバイトで採用し、現場を知ってもらう取り組みを続けています。実際にバイトから社員になった事例も生まれました。仕事を体験してもらう機会を増やすことが将来の担い手育成につながる。大西さんから教えていただいた、大切なポイントです。

おすすめの愛用道具



皆が働く社屋が一番の愛用道具

(2026年3月11日撮影)



節目ごとにカレンダーの裏に書かれた社訓。言葉より先に、大西さんご自身が体現してきた指針です。

現場の安全と法令順守のために 今、求められる「熱中症予防管理者」

POINT 1：熱中症対策義務化の概要

施行日: 2025年6月1日

法令: 改正労働安全衛生規則（第612条の2の新設など）

対象: WBGT値28度以上（または気温31度以上）の環境下で、連続1時間以上または1日4時間を超える作業を行う事業者

内容: 熱中症予防管理者の選任、報告体制の整備、作業手順の作成、関係者への周知

罰則: 実施義務違反者は、労働基準監督署による是正指導や6ヶ月以下の懲役又は50万円以下の罰金が科される可能性があります

POINT 2：事業者が行うべき対応

- ①測定 WBGT値（暑さ指数）の把握: 作業環境の測定
- ②管理者の選任 熱中症予防管理者の選任: 適切な知識を有する者を配置
- ③体制整備 体制・手順の整備: 緊急時の連絡体制や熱中症発症時の対応手順の作成・周知
- ④作業管理 暑熱順化の確認、作業者の体調確認



この事業者の「熱中症予防管理者の選任」の必要性を受け、「熱中症予防管理者講習（3.5時間）」を開催します。
受講者それぞれのペースで受講できる顔認証システムのWeb講座です。詳細・お申込みはお知らせ欄を確認ください。

働き方改革支援特設サイトのご案内

厚生労働省では、働き方改革に関する制度改正や支援策をまとめた特設サイトを公開しています。



事業者が押さえておくべき制度情報が取り組み事例と共に紹介されています。働き方改革への対応は義務される一方、国の支援策・助成金制度も多数用意されています。ぜひ一度ご確認ください。

※画像をクリックするとサイトへリンクします（検索ワード「働き方支援特設サイト」）

第16期3月度理事会開催報告

3月30日に理事会を開催いたしました。第16期事業進捗、第17期事業計画（案）・予算（案）、第4回在住協アワード受賞者、定款の変更、会費規則の変更などの議案について審議され、全議案無事に可決承認されました。来期も引き続き、木造在来工法住宅の普及・発展・継承に努めてまいります。



理事9名・監事2名が参加（一部オンライン）

在住協事務局便り 奈良支部の竹田さんとも再会（花岡）

大西さんのインタビューには、奈良支部水人株式会社の代表取締役の竹田さんもお越しくださいました。関西会員集会の後、こうして再会できたことを嬉しく思います。竹田さんに奈良名物の柿の葉ずし「平宗」を教えていただき、お土産に購入。家族にも大好評でした。奈良を訪れる際にはぜひおすすめです。



大西さん（左）竹田さん（中央）と記念撮影

発行元：一般社団法人 日本在来工法住宅協会



〒108-0074
東京都港区高輪2丁目14番18号 グレイス高輪207
TEL：03-6408-0285 FAX：03-6408-0286
e-mail：zairai@jtha.jp HP：https://jtha.jp/

2026年4月吉日発行

We are members!



新規会員のご紹介

厚木安全協力会様 4件
桶川第二安全協力会様 13件
長崎安全協力会様 2件
福井安全協力会様 31件

新規入会の皆様
末永くよろしくお願い致します

お知らせ

熱中症予防管理者教育・講習 （オンライン）受講者募集

受講日 5月8日(金)～7月6日(月)

※受講期間：60日間（ご都合の良い時間に分割受講可能です）

カリキュラム 合計3.5時間

熱中症予防対策の義務化・改正ポイントを網羅した内容です

※労働安全衛生規則の改正（2025年6月1日施行）に基づき実施します。

参加費 11,550円/人（税込）

対象・条件

- 主に現場作業員の労働環境を管理・指導する立場にある管理者、監督者、安全衛生担当者
- インターネットが利用できる環境がある方
- カメラ付きのスマホ/PC/タブレット等が用意できる方

詳細はこちらの
在住協HPをご確認ください



受講の注意事項をよくご確認の上、お申込みをお願いします。



FAX講読ご利用中のみなさまへ

1. カラーで読みやすいメール講読へ変更されませんか？貴社名・ご担当者様名・メールアドレス明記の上、zairai@jtha.jp までご連絡ください。
2. 配信停止をご希望の場合は、会社名及びFAX番号、「通信配信停止希望」とご記入の上、FAXでご連絡下さい。ご連絡のタイミングにより次月も届く場合がございます。予めご了承下さい。